

公園遊具の 今後は？

町長 ▶ 安全な施設管理を行う



池田満正 議員

【池田】町内には御来屋展望公園、山香荘、名和トレーニンングセンター、四季彩園、仁王堂公園などに公園がある。そこに、遊具や使用説明板、公園の説明板、ベンチなどがある。

古いもので30年近く前に設置されたものと思う。

その中には使用不能や不安全な状態のものがある。

看板の文字が読みづらいもの、何年もペンキを塗らず、状態の悪いベンチなどが見られる。



使用不能の遊具（山香荘）

による管理を行って

山香荘にも遊具が設置してある。長い間利用されない状況が続いている。遊具等の破損が目立ち、使用禁止としている。今後は山香荘全体の活用が決まったとき対応する。

名和トレーニンングセンターは安全上問題がある場合早急に対応している。

四季彩園、仁王堂公園は毎年専門業者に点検を依頼している。

職員研修は 行ったか？

町長 ▶ 17人を受講させた



野口昌作 議員

【町長】昨年度から不祥事を受け、「私たちの行動指針」を定めたり、サービス・接

遇に関する研修を実施したりしている。また、毎日の朝礼においても行動基準の確認を行っている。9月以降市町村アカデミーや自治研修所などに17人を受講させている。

管理職会で職員間の報告・相談、部下への監督・育成等に努めるよう指示している。

【野口】9月議会で、町民の信頼に応える役場「行政のプロ集団の館に」と題して一般質問を行った。

町長の答弁は「研修を中心として能力向上を進める」とあったが、その後、3件の行政の信頼を失する事務執行があった。

町長は職員の能力向上を図る研修をどのように行ってきたか。また、適正な事務執行を行うため、どのように取り組んだか。

職員懲戒処分について	
①対象職員および処分内容	西部地区免許センター 0859・22・4607 八幡警察署 0858・49・0110
②処分理由	本町では、業務の遅延および不適正な支払い行為があったため、平成22年12月9日付けで職員懲戒処分を行いました。 [1]業務の遅延に対する処分 ①対象職員および処分内容 課長補佐級の職員（1人） ……戒告
③その他	本町では昨年起ったゴミ袋代金の紛失という重大な事件の反省から、公金の取扱の適正化や職員としての責任ある行動について、研修などをおし徹底しているところ、当該職員は、電話料金の支払いを怠った結果、請求書に延滞金がついたことを隠蔽するため、正規の支払い手続きを行わず不適正な支払いを行った。
④その他	監督する立場にある職員（1人）について、指導・監督が十分であるとして厳重注意。

懲戒処分を周知した町報（一部加工しています）

新交通体系は？

町長 ▶ 住民の理解が必要

【杉谷】本町は広範囲に集落が点在している。車の利用ができない交通弱者（高齢者や学生等）の移動手段の対策が必要と思う。

【町長】交通弱者に対する移動の確保は、基礎的・基本的な社会資本の整備であると考えている。本町公共交通会議で公共交通体系の見直し作業に取り組んでいる。

【杉谷】住民の公共交通に関するアンケート調査の結果は、

【町長】高齢化が進む中で、将来への交通



生活につながる路線バス

通（買い物、医療等）に対しての不安が感じられる。

【杉谷】交通の空白地域の解決は、

【町長】路線・巡回バスを必要最小限残し、また交通の空白地域にはデマンド的な新しい交通システムを検討している。

【杉谷】新交通体系の実現は、

【町長】平成23年度中の実現を予定している。

【杉谷】公共交通で必要かつ効率の良いものは継続し、住民



杉谷洋一 議員

地域の学校 支援体制は？

教育委員長 ▶ 子どもの成長に重要

【杉谷】学校支援活動へ地域住民の参加で、学校と地域との結びつきを深め、体験学習の生きた教材により、学校教育の充実と児童生徒の人間形成の向上が求められている。

【教育委員長】地域とかかわりながら、教育活動を展開していくことが、大変重要と考える。

子ども見守り隊の皆さんに、登下校にお世話になっている。また、地域の方々にゲストティーチャーとして招き、大山町の歴史・自然、野菜



地域の支えで芝生の管理

や米の栽培など、直接子どもの指導支援を行っている。

【杉谷】地域の協力による校庭の芝生化は、

【教育委員長】学校グラウンドの芝生化は、県も普及に努めている、芝生の除草、冠水、頭刈りなどの管理作業を学校だけで行うことは、現実的には難しい。町内では、地域の皆さんで組織された「芝ボランティア」が大山

小学校のグラウンドで芝生管理作業を行っている。

【杉谷】学校の外部評価の導入は、

【教育委員長】保護者や地域住民など外部の視点を学校運営に取り入れることで、閉鎖的な学校から、より地域に開かれた学校へ変わっていく。現時点では、町内3校で運用・実施しており、他校も、準備を進めている。

夕焼け小焼けの赤とんぼがいい

町長 現在流している

【西山】 夕方5時の音楽は、町長の心、教育委員会の心、町民の心であると思う。夕焼け小焼けが一番いいという声が多い。

【町長】 大山にちなんだ曲ということで大山賛歌のメロディを使用した。わかりにくいということでは現在は夕焼け小焼けを流している。



夕焼け小焼けで帰りましょう



西山富三郎 議員

町民の恥 差別発言

町長 残念な気持ちでいっぱい

【西山】 町民の部落差別発言があった内容と対応は、何を学んだか。
【町長】 平成22年10月15日、午後4時

50分頃、町民から役場業務に対し苦情の電話があった。役場に対する憤慨表現の中で「人間でもない同和地区の者というんか」というものがあった。電話を受けた職員は説得にとめたが、興奮状態で匿名、電話着信履歴非表示のため男性としか分からなかった。職員は課長に報告し協議をした。10月18日には人権推進課に詳細を文書で報告した。人権推進課では、内容の精査をし「大山町人権・同和問題に関する差別事象に対する対応方針」に従い、10月26日「大山町人権・同和問題に関する差別事象対策会議」を開き今後の対応を検討し、その内容を関係機関に報告した。

11月25日には議会全員協議会に報告をし意見を聞いた。日々人権啓発を推進している者として大変残念な気持ちでいっぱいである。人権意識は相当高まり、部落差別は見えにくくなってきているようだが、同和問題や同和地区に関わりたくないという意識はまだ根強く残っている。人間関係が良好な時は表面に現れないが、良好な関係が崩れた時に差別意識が態度や行動となって現れる。今回の差別発言もその典型的な例である。部落差別・人権問題はまだ解決されていないと認識している。
【西山】 部落差別には5つの領域があるといわれている。どう認識しているか。
【町長】 戦後から近年までの現実認識は、①住民になお広く存

在している偏見・関わりたくないなどの差別意識
②住環境や教育、就業など生活の側面に現れる低位な生活実態
③差別意識が態度となり現れる差別事件
④差別事件は氷山の一角といわれているが、目に見えない水面下に広がる差別実態
⑤差別を受ける側の人々の癒しがたい傷となつている「心の現実」と認識している。この5領域は部落

問題のみならず、あらゆる人権問題を考える上で大きな意義を持つており、人権文化の町づくりを目指す上でも重要である。
【西山】 職員の間でカードはできていますか。
【町長】 職員の行動姿勢・行動規範を定めた私たちの行動基準を平成20年7月に策定している。職員一人ひとりに配布し自覚を高めるため朝礼で読み上げ確認している。

イノシシ処理加工施設の設置を

町長 慎重に考えるべき



諸遊 議員

【諸遊】 イノシシによる農作物の被害が増えている。県や町では、被害を最小限に抑えるため1頭1万5000円の捕獲奨励金の交付や進入防止柵等の設置の助成を行っているが、被害は毎年増え、その捕獲頭数も増えている。町内被害総額は、平成20年が1390万円、捕獲頭数は、今年度が103頭である。

積極的な施策を講じ、国の処理施設導入支援事業（国の補助率

50%）を活用し、町内に処理加工施設を造つてはどうか。公設民営で運営されれば新たな町独自の特産品となり、従



負の産物をまちおこしに

来の負の産物から本町のまちおこしに活用できると考えるが。
【町長】 量的に安定した供給がないこと、季節によって品質に差が生じることが問題。また、施設の運営、販路の確保等を考えて慎重に考慮すべきと思う。

人権尊重の町づくりに不備はないか？

町長 人権同和教育の充実に努める



岡田 議員

【岡田】 先日、町民による電話での差別発言が発生した。憲法は、すべての人の基本的な人権を保障し、社会的身分、または門地によって政治的または社会的関係において差別されない、とうたっている。さらに、「大山町人権尊重の社会づくり条例」でも、町の責務、町内にくらすすべての者の責務として同じように定められている。このように、法律や条例に基づいて、さまざまな努力がな

されているにも関わらず差別発言が発生する。町としてどのように考え、対策をするのか。
【町長】 不備はないと考えているが、残念な気持ちでいっぱい。これまでどおり、町、教育委員会、人権



あらゆる差別をなくす研究大会（平成22年

度開催）

同和教育推進協議会の三者が協力し、あらゆる差別問題を解決したい。また、行政職員や推進者の養成に、更に力を入れる必要があると考えている。
【教育委員長】 残念な思いでいっぱい。取り組みの成果は認めるものの、まだ解決していない。まだ、取り組みを緩めてはいけない。今後このようなことが起きないように、さらに人権・同和教育の充実に努めたい。

仁王堂公園を拠点にまちづくりを

町長 集落の交流にも活用



小原力三 議員

【小原】仁王堂公園は施設に不備がある。特に駐車場にトイレが必要だと思う。

【町長】交流を深める施設になると考える。高齢者から子どもまで、レクリエーションやスポーツでの交流ができる。集落や地域の活性化につながる意義のある施設である。

【小原】平成9年にふるさと創生事業で造られた仁王堂公園は、家族やグラウンドゴルフでの利用が多い。この施設を活用することで、より本町の目指すまちづくりに役立たせてはどうか。



仁王堂公園で町民の交流を

また、交流の場となる何らかの設備も必要だと思いがどうか。

【町長】トイレは芝の広場に近いところにある。

町民が交流する中で、今以上の設備が必要だということであれば、その段階で検討していく。

電気自動車の導入は？

町長 来年度に予定



米本隆記 議員

町としても環境に配慮することが必要と思う。また、中学生の授業の一環として地球環境を考える授業にも一役買う。電気自動車の導入の考えは。



環境にやさしい公用車を

【町長】環境保全に対する考え方は、総合計画（後期）や地域新エネルギービジョンにおいて取り組みを進めている。クリーンエネルギー自動車導入プロジェクトでは、これまでにハイブリッド車を4台導入した。電気自動車は、新しい公共交通の検討の中で、導入を検討している。時期は公共交通に合わせ平成23年度になる。

税金の使い道が選択できる制度を

町長 意見を参考にしたい



竹口大紀 議員

【竹口】書面が複雑になるからできないというのは行政側の

【町長】本町でも、ふるさと納税で「自然環境の保護・地域の向上・教育の促進」の3種類が選択できる。これ以上に選択肢が増える、申し込みの書面が複雑になる。現行の制度で寄付を増やす努力をしたい。

【竹口】寄付条例を制定する自治体が増えている。寄付条例は、政策や事業に対しての寄付を募り、集まったお金で政策を進めたり、事業の財源の一部にしたりする制度。ふるさと納税の優遇税制が適用されることで、実質的に納める税金の使い道が選択できる制度を創設する考えはないか。

【町長】県外の人を中心とした現行制度を、町内の人へのアプローチに変えることは検討していかねばならない。意見を参考にしたいと思う。

【町長】基本的には、国の支援策の活用か、中海テレビのケーブルテレビの利用を勧めている。今後デジタル化の周知に努める。【大森】具体的にどう周知するのか。【企画情報課長】具体策はこれから考えたい。【大森】低所得世帯に、チューナー代と設置費を助成する考えは。【町長】従来の生活保護世帯に加え、住民税非課税世帯にも国の支援対象が広がった。すでにチューナーを購入した世帯への助成については不明。【大森】その周知の具体化は。【町長】通知をする。福祉介護課等と連携しながら対応する。

→ 町民の関心が計れる寄付制度に都合。

「ふるさと納税制度」でお預かりしたあなたの寄付金で、大山町の自然環境を守ります!! 次代を担う子どもたちの育成に努めます! 町の福祉施策の充実をはかります!

みなさまからの応援をお待ちしています。

〒089-0211 盛岡市山形県大山町 盛岡市山形県大山町 盛岡市山形県大山町
電話 089-54-8201 FAX 089-54-2702
E-mail: fukushijok@town.yamagata.jp

【大森】菅首相は、TPP交渉への参加を進めている。TPPは、貿易全品目の関税を撤廃するもの。第1次産業に甚大な影響を及ぼすTPPへの参加は絶対に許されないが、認識は。【町長】TPPに参加した場合の農産生産額への影響は、次のとおり。国：約4兆円、48%の減少、本県：316億円、45%以上の減少、本町：50億円、56%以上の減少。このことから、多大な影響が及ぶ。【大森】政府への要請など何らかの行動をすべきでは。【町長】12月の町村



大森正治 議員

長大会でTPP交渉参加に反対する特別決議が採択された。本町の行動も考えているが、県内・近隣市町村と連携をしていきたい。

TPP反対に町も行動を!

町長 県・近隣市町村と連携して

地デジに助成を!

町長 国の支援策を活用

【大森】2011年7月24日にアナログ放送が終了する。町内ではまだ380世帯前後がデジタル化してないと推測する。「テレビ難民」を出さないために、地上デジタル化に向けて、

町行政はどう対応する考えか。【町長】基本的には、国の支援策の活用か、中海テレビのケーブルテレビの利用を勧めている。今後デジタル化の周知に努める。【大森】具体的にどう周知するのか。【企画情報課長】具体策はこれから考えたい。【大森】低所得世帯に、チューナー代と設置費を助成する考えは。【町長】従来の生活保護世帯に加え、住民税非課税世帯にも国の支援対象が広がった。すでにチューナーを購入した世帯への助成については不明。【大森】その周知の具体化は。【町長】通知をする。福祉介護課等と連携しながら対応する。

11月臨時議会

職員・議員の期末手当減額

11月臨時議会が平成22年11月25日に開会されました。この臨時議会には、特別職の職員・一般職員・議員の期末手当減額の条例改正等の4議案が提案され、賛成多数で原案のとおり可決しました。

〔総務課長〕

民間も賃金下がるといふ悪循環で、内需が拡大しない。どのような検討をされたか。

状況も検討し、この提案をしている。

町職員も給与は、以前から引き下げられている。

町長

〔大森議員〕
人事院勧告に準じて期末手当、勤め手当を引き下げるといふことだが、町職員の給与は、以前から引き下げられている。

地方公務員の給与は、人事院勧告を尊重し改定することだが、以前からのやり方。上がる時も下がる時も、人事院勧告を尊重するべき。



質疑

各町村の報酬一覧（平成22年7月1日現在）

	議員	議長	町村長
岩美町	227,000	333,000	769,500
若桜町	198,000	286,000	732,600
智頭町	212,970	290,400	591,500
八頭町	206,200	297,400	721,800
三朝町	217,000	321,000	802,000
湯梨浜町	208,000	307,000	745,860
琴浦町	217,000	321,000	802,000
北栄町	212,800	314,450	721,800
日吉津村	198,000	284,400	648,000
大山町	215,000	308,000	632,000
南部町	212,000	304,000	711,000
伯耆町	208,000	295,000	690,000
日南町	207,000	297,000	702,000
日野町	193,500	277,200	632,000
江府町	193,500	277,200	647,800

みなさんからの陳情 はこうなりました

12月定例会で審査した陳情は、次のとおりです

陳情の件名	陳情者等	委員会の意見	付託委員会名	審査結果
2011年度国家予算編成において教育予算拡充を求める陳情書	鳥取県教職員組合西部支部 支部長 内田浩文	子どもに十分な教育を保障することは、社会基盤として重要なことである。日本の子どもへの公的支出は先進国の中で低レベルであり教育予算を国全体として充実させる必要がある。	教育民生 常任委員会	採択 賛成15人 (意見書提出)
環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の参加に反対する陳情書	農民運動 鳥取県連合会 代表 東田久	関税を撤廃し完全自由化するTPPIに参加すれば農林水産業に重大な悪影響を及ぼす。大山町も農業生産額の56%が減少する可能性があり影響は多大であることから全会一致で採択と決した。	経済建設 常任委員会	採択 賛成17人 (意見書提出)
「交通基本法」制定に関する陳情書	西日本旅客鉄道労働組合米子地方本部 執行委員長 佐貫馨	交通空白地を抱え高齢化が進む本町は交通弱者の移動手段の確保は重要な課題。基本法制定に向け政府の取り組みも進められている。	総務 常任委員会	採択 賛成17人 (意見書提出)
年金受給資格期間を10年に短縮することを求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 松本正孝	国は12月10日に社会保障改革の基本方針を決定し具体的な施策が待たれるところである。現状としては財政も厳しく資格期間の短縮は困難。	教育民生 常任委員会	不採択 採択に賛成1人

ヤンヤングン 韓国襄陽郡訪問団来日!

2010年10月30日



양양군

姉妹都市である韓国の襄陽郡から、郡守・議員・職員の訪問団が大山町を訪れました。その際、大山町議会議長主催の交流会を開催し、自治体間の親睦を深めました。

イジンホ
【右】襄陽郡 李鎮浩 郡守
【左】野口俊明 議長

郡守
韓国の行政単位「郡」のトップ。郡守選挙で選ばれる。

どげんなった？

議会報告会

意見・要望のその後

議会報告会の評価	割合
①良かった	31%
②どちらかと言えば良かった	21%
③普通だった	31%
④どちらかと言えば悪かった	10%
⑤悪かった	7%

地区別参加者数	人数
中山地区	20
名和地区	27
大山地区	26
合計	73

アンケート回収率40% (29人)

2回目となる議会報告会を、11月10日から3日間の日程で開催しました。今回も、参加者からの提言等を町長に伝え、回答がありましたので、一部を要約してお知らせします。

大山町議会報告会

【町長】
町が行う施策や事業は、必要に応じ、説明・意見交換の場を設けている。年2回の区長会、町長の集落行政懇談会、事業説明・意見交換会などを行い、住民参画の機会は設けている。参加者が少ない時もあり、制度が浸透していない面もある。

住民の参画

【参加者の声】
山香荘の活用方策や水道料金統一問題等、町民に深く関わる施策で、住民が行政に参画する機会が少ない。町民の声を聞く場づくりや、制度の創設を。

【町長】
国の事業仕分けの手法は、色々と議論されており、直接住民との関わりがある町行政には、適していないと考えている。行財政改革は審議会からの答申をもとに、成果をあげる事が重要。事業の精査は、議会や監査委員により厳しく行われていると考えている。

事業仕分け

【参加者の声】
財政運営が、ますます厳しくなっていく中、行財政改革として、平成23年度予算編成にあたり、事業仕分け制度を導入し、各種事務事業の点検と精査を。

【町長】
決断までには、入院の受け入れ再開等を検討したが、いずれのケースも医師の確保が問題。この活用策によって、現有機能を生かし、地域住民のニーズを受け止める施設になると考える。

大山診療所

【参加者の声】
大山診療所の2階部分は、改装が検討されているが、慎重に最終判断をするべき。

【町長】
農産物処理加工施設は、経営基盤安定を目標とした商品開発に取り組んでいる。将来的に公社は独立した組織とし、農産物に付加価値を与え、農家所得の向上につながるよう努力したい。

恵みの里

【参加者の声】
大山恵みの里公社に多くの意見があった。特に農産物処理加工施設は、農家所得の向上を図るといふ当初の構想、基本理念を守ってほしい。

【町長】
税、料金等の徴収体制をより強化し、滞納情報を広報誌等で広く周知したい。行財政改革審議会から、滞納者の少ない県下一の町をめざすよう、答申を受けている。これにしたがいが、徴収体制の強化と納税意識の向上を図る。

滞納金

【参加者の声】
約6億円の滞納金は大きな問題。納税意識向上の啓発に努め、解決を。

【町長】
安価にするのも一つの手法だが、公平性という点から適当でない。PRは、関西圏のIJUターンの相談会を利用し、また、イオン日吉津に広告看板の設置も予定している。山陰道が開通すれば、さらに販売数も増えると期待している。

分譲地

【参加者の声】
ナスバルの分譲地は販売数が低下している。民間は、価格を下げて販売促進をするが、行政は創意工夫がない。発想の転換を。

【町長】
新年度ごみ減量化推進会議で意見を聞き、作るかどうか決定する。

ごみ袋

【参加者の声】
可燃ごみ用のごみ袋のサイズは、大と小の2種類がある。ごみの減量・経済性・効率性等を考慮して、中サイズのごみ袋を検討してはどうか。

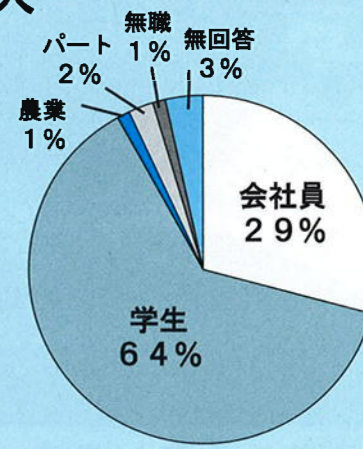
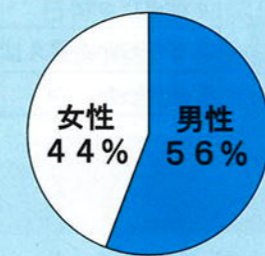
新成人に聞きました！



1月3日、成人式が保健福祉センターなわで開催されました。議会の広報委員会は、企画情報課と共同でアンケートを実施し、まちの将来を担う新成人の意識をまとめました。

DATA

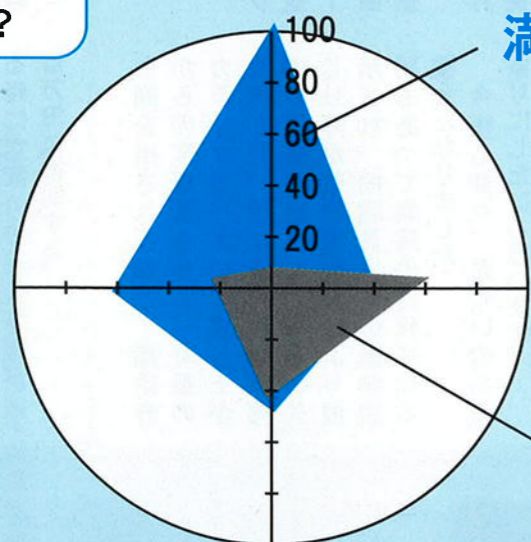
出席者 181人
回答者 86人
回答率 48%



ふるさとの満足度は？

自然（海・山・川）

満足度



集落の行事

交通の利便性

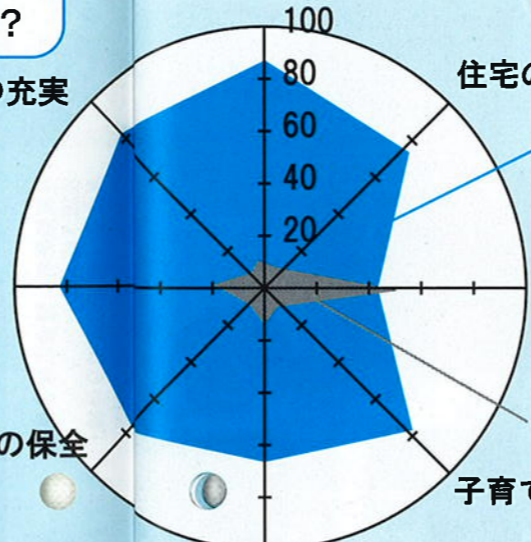
不満度

生活施設（病院・学校・店など）

定住の条件で重要なことは？

雇用確保

重要度



生活施設の充実

住宅の確保

公共交通の充実

結婚対策

不要度

自然環境の保全

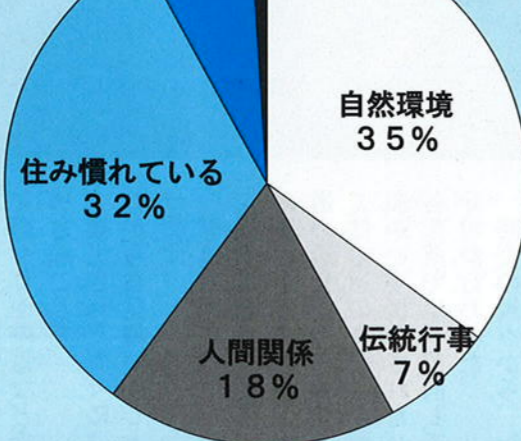
子育て環境

農林水産業の活性化

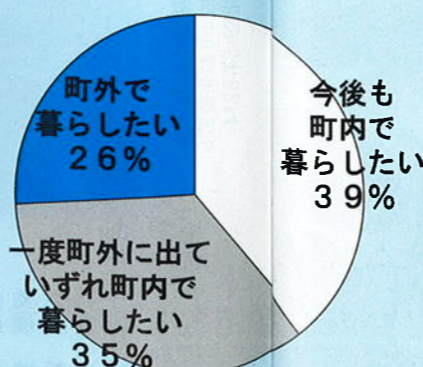
ふるさとの魅力とは？

親との同居

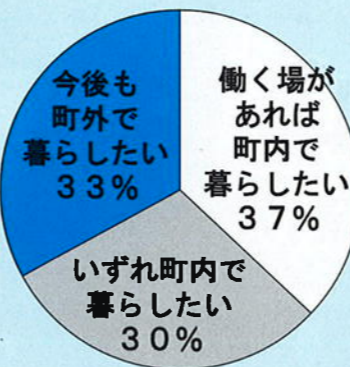
その他



大山町に住みたいですか？



町内在住者



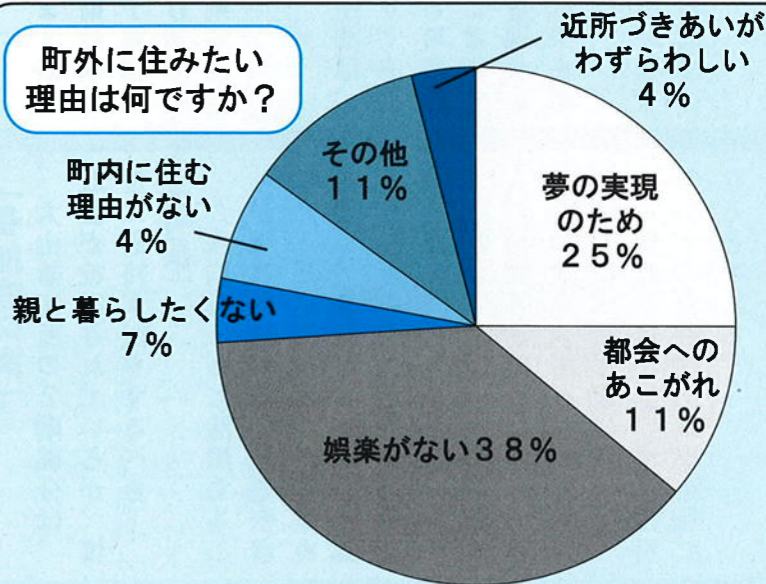
町外在住者

仕事があれば町内で暮らしたい

今回の調査では、前回の中学3年生の意識とは違い、町外在住者でも町内に住みたいという人が多く、また、地元の行事等への満足度が高かった。

そして、結婚観が大きく変化しているようだが、これは定住とも関係する雇用の問題が一因ではないかと思う。自然環境に関しては、満足度が高くなっているが、大山町らしい自然を、さらに魅力的なものに磨き上げられるかが重要ではないかと感じる。

町外に住みたい理由は何ですか？





谷野保人 (平田)

現在大山町には、数多くの課題がある。学校の統合、公共交通、第一次産業就業者の減少等々。

これらの課題の根源の何割かは人口減少だと考えられます。人口減少は世の流れである。

大	山	町	活	性	化
			の	愚	策

大山町も将来人口が減少するというところで町政を進めている。

心配するということなら話しは別だが、人口は民力そのもの。人口増について愚策を述べます。

まず、町長が人口増の政策を英断する。それを議会が全面的に協力バックアップする。そして、町民はその政策が実施され、税の不公平、町費が無駄のように出費されるのを覚悟する。
その政策とは例えば、Uターンの方が空家を利用する時に空家の修理工費を町が数百万円位補助する。



岡田邦雄 (西坪)

西坪集落では、毎年の10月下旬から11月の初旬の日曜日に集会所において「西坪まつり」を開催しております。集会所の中には子どもから老人まで多くの作品(習字、絵画、写真、工作物、陶器、歴史的資料等)を展示し前庭では焼

集	落	に	賑	わ	い	を

きそば、焼きイカ、フランクフルト、焼き芋等の屋台が並び餅つき大会、マジックショー、スリッパ飛ばし、ピング大会、カラオケなど、盛り沢山の催しで大変賑わいました。

前回に続き森田町長・上村県議又今年も、小谷県会議長

も顔を出されるなど、集落外からの来場所も多く、町長のカラオケで、大いに盛り上がりました。特に今年も、集落内の遺跡で出土した石器の矢じり等が県教育委員会より展示され、同職員さんの遺跡説明もあって集落の古代を知る機会となりました。
今後ますます、賑わいのある祭りにしたいと思います。



郷田大地 (なかやま 団地)

私は、この春より大山町の若者向け町営住宅に住み始めました。

職場が米子なので、慣れるまでは以前より長い通勤時間が辛かったですが、帰宅すると夜に見える星空がとても綺麗

移	住	し	や	す	い
大	山	町			

麗で通勤の辛さも忘れ、心が洗われます。

しかし、現在住んでいる若者向け町営住宅はとても安い反面、収納スペースがあまり無く、外灯が無いので、夜に帰宅した時にとっても暗く、段

差がとても危ないです。また、入居のためには大山町民の連帯保証人が2人必要と町外からとても入居が難しいです。
大山町には現在賃貸物件がほとんど無く、移住しにくくなっているのも、もっと柔軟な受入態勢を整え、大山町をもっと開放的で活気のある町にしていくって欲しいです。

あとがき

大晦日から元日にかけての積雪は里部でも90cm前後となり、短時間の降雪としては未曾有の豪雪となった。そのため、ビニルハウスや畜舎、野菜・果樹などに大きな被害を出し、交通マヒや停電などを引き起こした。

被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

豪雪対応には、町長を先頭に職員、消防団の多くが尽力され、国道の通行不能に当たっては沿道のみなさんが温かい支援をされた。各集落では、協同して除雪が行われた。

防災の視点から、行政も議会も、そして、集落においても、今回の豪雪の教訓を今後に生かしたいものだ。

大森

《発行責任者》
議長 野口俊明

《広報委員会》

- 委員長 竹口大紀
- 委員 大森正治
- 副委員長
- 委員 西山富三郎
- 委員 池田満正
- 委員 杉谷洋一
- 委員 米本隆記

議会だよりのご感想をお寄せください!

